

優れた追従性を有する カット不要のひび割れ補修工法

短繊維を混入した特殊アクリル樹脂を用いてひび割れ部に補修材を注入する、ノンカット型の補修工法。外壁のひび割れ補修では、一般的にひび割れ部をU字型にカットしてシーリング材を充填する工法が用いられるが、こうした工法と比較して本工法は補修跡が目立ちにくく、美観を損なうことなく補修が可能となる。

塗装下地のほか、タイル、コンクリート・モルタル塗り仕上げの外壁等、さまざまなひび割れ補修に用いることができる。

【特長】

- ① Uカット工法に比べて補修跡が目立たず、建物の外観を美しく保つ。
- ② 施工中に騒音や粉塵が発生せず、周辺環境への影響を最小限に抑える。
- ③ 施工性に優れ、工期の短縮が図れる。
- ④ 補修箇所からの雨水の浸入を防ぐ。
- ⑤ ひび割れに対して優れた追従性がある（ひび割れ追従性試験で約5mm）。
- ⑥ 「JKラビング」は水系材料であり、環境への負荷が少ない。
- ⑦ 硬化後は透明な仕上がりとなり、タイル面への施工も可能で既存の外壁を生かすことができる。



施工状況

■補修箇所の比較

Uカット工法



本工法



Uカット工法では補修跡が目立つのに対し、本工法では補修跡はほぼ分からない。

■ひび割れ追従性の比較

材料名	強度	伸度
比較品 (JKラビング繊維なし)	5.00N/mm ²	2.53mm
JKラビング	10.81N/mm ²	4.65mm

テストスピード5mm/min

強度：最大荷量を断面積で割ったもの

伸度：塗膜破断時の伸び量

■施工手順

→（青）：ひび割れの幅が0.2mm未満

→（赤）：ひび割れの幅が0.2mm以上



問い合わせ先

日本樹脂施工協同組合 TEL03-3831-6185 <https://jkk.or.jp/>